

## 5.2 大気質

### 5.2.1 現況調査

#### (1) 調査内容

事業計画地周辺における大気質の現況濃度、経年変化及び環境基準の達成状況を把握するため、既存資料調査を実施した。また、既存資料及び現地踏査により事業計画地近傍における住居地等の配置の状況について調査した。

調査の内容は表 5-2-1 に、現況調査地点は図 5-2-1 に示すとおりである。

表 5-2-1 調査内容

調査対象項目	調査対象範囲・地点	調査対象期間	調査方法
大気質の状況 ・窒素酸化物 ・二酸化窒素 ・浮遊粒子状物質	事業計画地近傍の大気汚染 常時監視測定局 (一般環境大気測定局) ・菅北小学校局	平成 26～30 年度 (5 年間)	既存資料調査 大阪市環境白書 平成 27～30 年度版 (大阪市、平成 27～30 年) 大阪府環境白書 2018 年版 (大阪府、平成 31 年) 大阪府ホームページ
気象の状況 ・風向、風速	事業計画地近傍の大気汚染 常時監視測定局 (一般環境大気測定局) ・聖賢小学校局	平成 29 年度 (1 年間)	
住居地等の配置の状況	事業計画地近傍	既存資料調査 適宜 現地踏査 令和元年 6 月	既存資料調査 ・北区建物用途別土地利用現況図 (大阪市、平成 25 年) ・ゼンリン住宅地図 大阪市北区 (株ゼンリン、平成 25 年) 現地踏査



図 5-2-1 現況調査地点の位置

(2) 調査結果

大気質の状況

a. 窒素酸化物

菅北小学校局における二酸化窒素濃度の年平均値の経年変化及び平成 30 年度の年間測定結果は、表 5-2-2(1)、(2)に示すとおりである。

平成 26～30 年度の年平均値は 0.016～0.019ppm であり、平成 30 年度の年平均値は 0.016ppm であった。

また、平成 30 年度の日平均値の年間 98% 値は 0.036ppm となっており、環境基準の長期的評価を満足している。

表 5-2-2(1) 二酸化窒素年平均値の経年変化（平成 26～30 年度）

単位：ppm

測定局	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
菅北小学校	0.019	0.019	0.017	0.018	0.016

出典：「大阪市環境白書 平成 30 年度版」（大阪市、平成 30 年 12 月）  
「大阪府ホームページ 大気汚染常時監視のページ（大阪府）」

表 5-2-2(2) 二酸化窒素測定結果（平成 30 年度）

測定局	年平均値	日平均値が0.06ppmを超えた日数とその割合		日平均値の年間98%値	98%値評価による日平均値が0.06ppmを超えた日数
	ppm	日	%	ppm	日
菅北小学校	0.016	0	0.0	0.036	0

出典：「大阪府ホームページ 大気汚染常時監視のページ（大阪府）」

菅北小学校局における窒素酸化物の平成 26 年度から 30 年度の年間測定結果は、表 5-2-3 に示すとおりである。

表 5-2-3 窒素酸化物測定結果（平成 26～30 年度）

単位：ppm

測定局	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
菅北小学校	0.023	0.023	0.021	0.023	0.021

出典：「大阪市環境白書 平成 27～30 年度版」（大阪市、平成 27～30 年）  
「大阪府ホームページ 大気汚染常時監視のページ（大阪府）」

b . 浮遊粒子状物質

菅北小学校局における浮遊粒子状物質濃度の年平均値の経年変化及び平成 30 年度の年間測定結果は、表 5-2-4(1)、(2)に示すとおりである。

平成 26～30 年度の年平均値は 0.021～0.024mg/m<sup>3</sup>であり、平成 30 年度の年平均値は 0.021mg/m<sup>3</sup>であった。

また、平成 30 年度の 1 時間値が 0.20mg/m<sup>3</sup>を超えた時間および日平均値が 0.10mg/m<sup>3</sup>を超えた日はなく、環境基準の短期的評価を満足している。日平均値の 2 % 除外値は 0.047mg/m<sup>3</sup>であり環境基準の長期的評価を満足している。

表 5-2-4(1) 浮遊粒子状物質年平均値の経年変化（平成 26～30 年度）

単位：mg/m<sup>3</sup>

測定局	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
菅北小学校	0.024	0.022	0.021	0.022	0.021

出典：「大阪市環境白書 平成 30 年度版」（大阪市、平成 30 年 12 月）  
「大阪府ホームページ 大気汚染常時監視のページ（大阪府）」

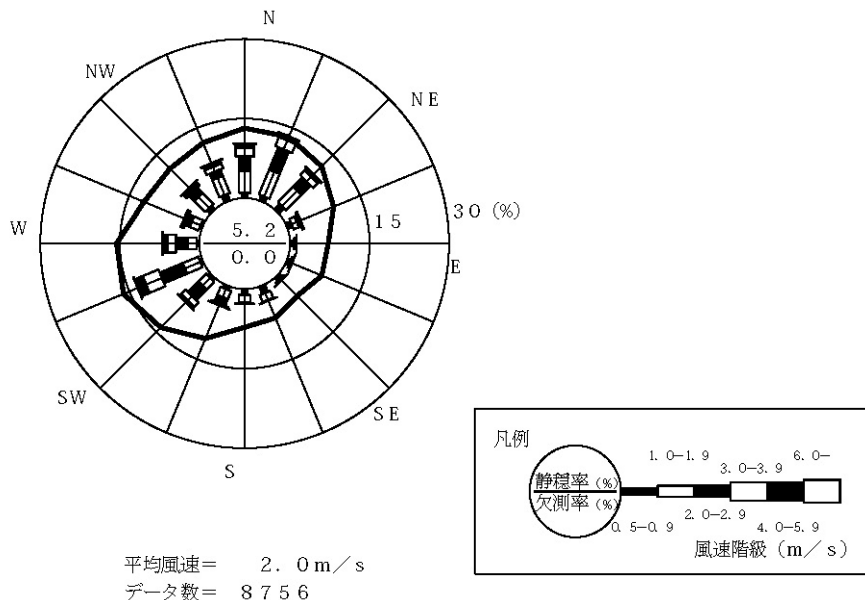
表 5-2-4(2) 浮遊粒子状物質測定結果（平成 30 年度）

測定局	年平均値 mg/m <sup>3</sup>	1時間値が 0.20mg/m <sup>3</sup> を超 えた時間数とそ の割合		日平均値が 0.10mg/m <sup>3</sup> を 超えた日数と その割合		日平均 値の2% 除外値 mg/m <sup>3</sup>	日平均値が 0.10mg/m <sup>3</sup> を 超えた日が 2日以上 連続した ことの有無 有×無	環境基準の 長期的評価に よる日平均値 が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数 日
		時間	%	日	%			
菅北小学校	0.021	0	0.0	0	0.0	0.047		0

出典：「大阪府ホームページ 大気汚染常時監視のページ（大阪府）」

### 気象の状況

平成 29 年度における聖賢小学校局における風配図は、図 5-2-2 に示すとおりである。最多風向は北北東と西南西であり、どちらの風向の出現頻度も 13.3% となっている。平成 29 年度の年間の平均風速は 2.0m/s であった。



注) 図中の実線は平均風速を示し、そのスケールは内円が 2.5m/s を、外円が 5.0m/s を示す。

図 5-2-2 聖賢小学校局における風配図 (平成 29 年度)

### 住居地等の配置の状況

事業計画地近傍における住居地、学校教育法第 1 条に規定する学校及び病院の位置は、図 5-2-3 に示すとおりである。事業計画地に最も近く、かつ特に環境への配慮が必要である施設としては、事業計画地の南側の病院がある。

なお、事業計画地周辺の現在の土地利用の状況は、主に業務施設であり、将来の土地利用においても、現在と同様の土地利用が図られていくと考えられる。

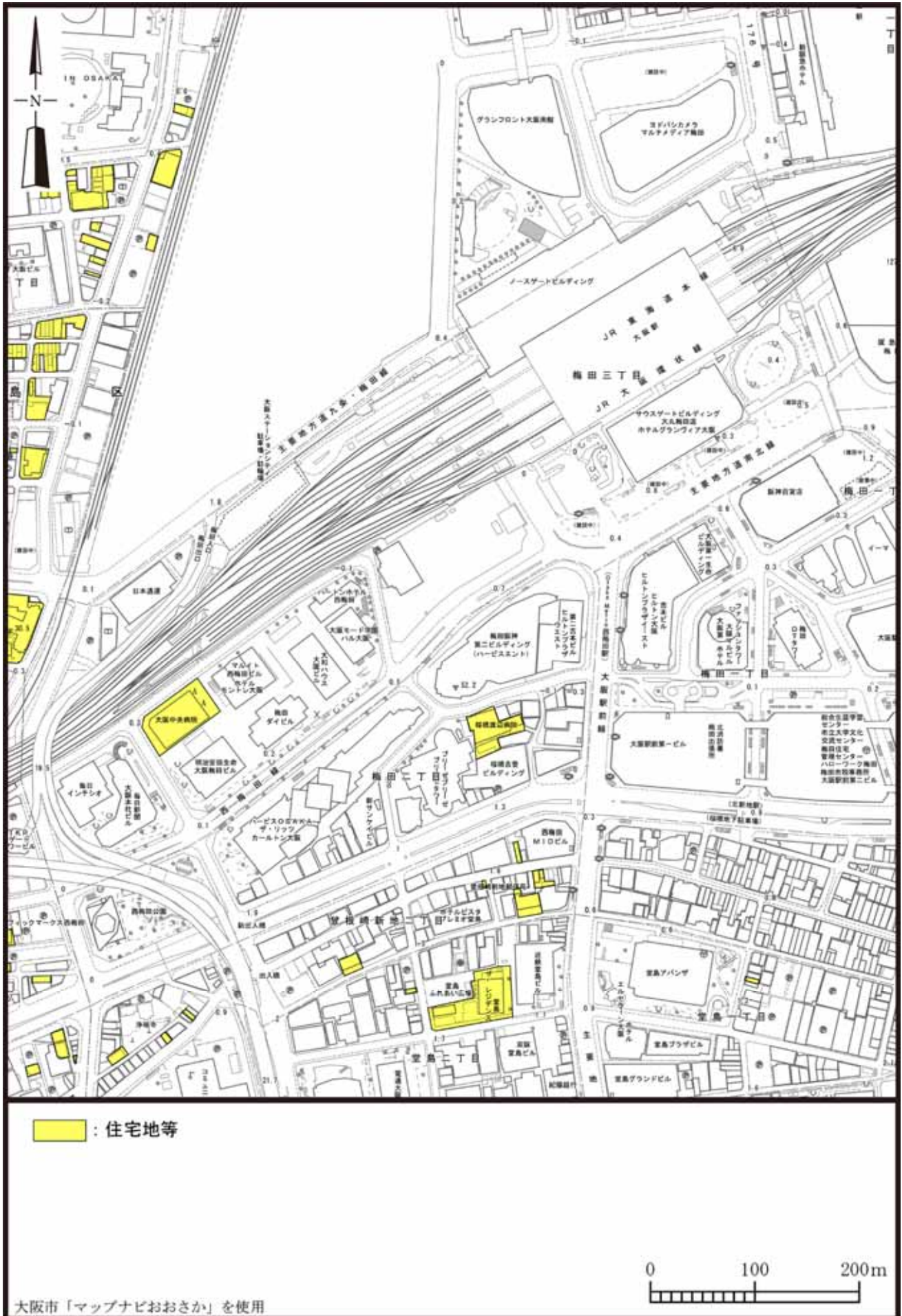


図 5-2-3 住居地等の位置